



平成22年10月29日
(株)放送衛星システム

放送衛星BSAT-3bの打ち上げ成功について

株式会社放送衛星システム（東京都渋谷区：社長 竹中 一夫）が調達中の放送衛星BSAT-3bを搭載したアリアン5型ロケットは、平成22年10月29日（現地時間28日）、南米仏領ギアナ・クールーにある射場で打ち上げられました。

点火後、BSAT-3bはロケットからの分離に成功し、順調に飛行を続けています。

今後BSAT-3bは、アポジモータを数回に分けて噴射し、遷移軌道から高度3万6000キロメートルの静止軌道に入る予定です。

なお、BSAT-3bは、現在放送中のBSデジタル放送や、地上デジタル放送の衛星利用による難視聴対策に使用するとともに、平成23年10月からの新たなBSデジタル放送に対応するための8チャンネル衛星（設計寿命15年以上）で、米国のロッキードマーチン社で製作されました。

問い合わせ先：(株)放送衛星システム 総合企画室

TEL 03-5453-6521



放送衛星BSAT-3bの打ち上げ成功にあたって

平成22年10月29日
株放送衛星システム (B-SAT)
社長 竹中 一夫
(ギアナ宇宙センター)

- 本日、放送衛星BSAT-3bが南米仏領ギアナの宇宙センターより打ち上げられ、順調に飛行を続けていることが確認でき、大変喜ばしく思っております。
これもひとえに、関係各位のご指導、ご協力の賜物と深く感謝しております。
- 今後、本衛星がBSデジタル放送に使用できるようになるまでには、種々の段階を経なければなりません。それらが順調に進み、完全な衛星として引き渡しを受け、15年間を超える設計寿命期間中の役割を十分に果たすことを強く望んでおります。
- B-SAT社は、今後とも日本におけるBS放送のますますの発展に向けて、BS受託放送事業者の使命として信頼性の高い安定した放送衛星の確保に努め、皆様のご期待にお応えする所存です。